

平成 30 年度

し と お ぎ た  
志登尾北遺跡現地説明会資料



志登尾北遺跡調査区全景

日時 平成 30 年 9 月 22 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 30

場所 糸島市志登 520 番

糸島市教育委員会

## 1 はじめに

志登尾北遺跡の発掘調査は宅地造成に伴う記録保存を目的とした調査です。

本遺跡は主に15～16世紀（戦国時代）を中心とした遺跡です。出土した遺物や遺構からは大きな濠に囲まれた屋敷の様子をうかがうことができます。

現地説明会では出土した遺構・遺物の公開や調査成果の解説を行ないます。

## 2 志登尾北遺跡の地理・歴史的環境

志登地区は糸島平野のほぼ中央部に位置し、怡土・志摩地域を結んでいます。今津・加布里湾は志登付近まで入り込んでいました。周辺の主な遺跡としては国史跡の志登支石墓群や弥生時代の玉作り工房である潤地頭給遺跡（現東風小学校）などがあります。また、潤古屋敷遺跡では戦国時代頃の居館跡が確認されています。以上のように古くから人々の活動が行なわれています。

## 3 志登尾北遺跡の概要

時代：弥生～近世（中心的時代は戦国時代）

主な遺構：大溝、柵穴、井戸

主な遺物：弥生土器、須恵器、土師器、瓦質土器、陶磁器、砥石

## 4 主な成果

- ・ 調査区北側、東西方向に長さ約20m、幅約3.5m、深さ約1.5mの大溝を確認しました。
- ・ 大溝はこれまでの市内における調査例と断面形状や長さ、幅、深さなどを比較したところ、屋敷を囲う濠であった可能性が高いと考えられます。  
また、濠の手前には防御柵を建てた跡の穴が確認されています。
- ・ 濠内部から井戸が検出されていることから、井戸を壊して濠を作ったことが分かります。また井戸の時期は12～13世紀ですので、この時期には集落が存在したということが言えます。

## 5 戦国時代の怡土・志摩

志登尾北遺跡の濠が形成された時期は戦国時代と考えられます。この時期、怡土は周防大内氏側の原田氏、志摩は豊後大友氏側の臼杵氏の勢力下にあり、大友氏と大内氏の衰退後は、原田氏が怡土・志摩両地域に勢力を伸ばし、1587年（天正15）年豊臣秀吉の九州征伐まで続きました。

## 6 糸島地域の戦国期の環濠居館跡について

潤古屋敷遺跡：一辺約 90m（南北方向）、幅約 7m、深さ 1.2mのV字状の濠が検出されています。時期は 13～15 世紀と考えられています。

篠原東遺跡群：2つの方形区画を検出しています。居館 1 は 1～3 重の溝を設け、区画内には 4 軒の建物が確認されています。溝の中から鬼瓦が検出されており、瓦葺きの建物があったことが分かります。

居館 2 は区画の南西隅のみ確認されています。居館 1 の北西部の溝が居館 2 の溝に合流していることから両者は密接な関係があったと推測されます。居館 1 の溝は幅約 1.0～3.6m、深さ 0.4～0.9（削平を受けている可能性大）の逆台形状を成しています。時期はおおよそ 15～16 世紀のものと考えられます。

池田井田遺跡：東西および南北に走る全長約 30m、幅約 4.5m、深さ 7.5mの逆台形状の濠が検出されています。柵列なども検出されており、時期は 15 世紀代と考えられています。

東五反田遺跡：東西 55m、南北 40mの環濠が検出されています。

古伝承によると原田種直の居館跡とも言われています。

蔵持古屋敷遺跡：4本の濠が検出され、特に 2号溝は戦国時代から江戸時代にかけてのものと考えられます。幅約 3m、深さ約 1.1m、1 辺約 30mのV字状を成しています。

波多江丹波屋敷：1 辺 40m、幅約 3～4mで土塁を備えており、波多江氏ゆかりの居館と考えられています。

## 7 おわりに

今回の調査では屋敷を囲うものと思われる濠や柵等が発見されました。これらの遺構は市内各地の居館跡の濠と比べ、遜色のないものと言え、当時の志登地区の様子をうかがうための重要な資料となります。

また志登集落には中村姓が多く、中世以降の貴重な古文書（中村家文書）が伝来しています。それによれば、中村氏は松浦党の一派であり、鎌倉時代には糸島市大門付近を拠点にした御家人でした。南北朝期には北朝方について活躍し、この頃から志摩郡にも影響力を持つようになったようです。天正年間

（1573-1593 年）には原田了栄から志摩郡の中に 1 町の土地をあてがわれており、中世末期には原田家の家臣団に組み込まれていたようです。

中村氏がいつの頃から志登に居住したのか明らかではありませんが、当地に展開した有力氏族の一つとして、この環濠居館の主として有力な候補と言えるでしょう。

今後、調査成果の整理とともに詳細な検討を行なっていく必要があります。

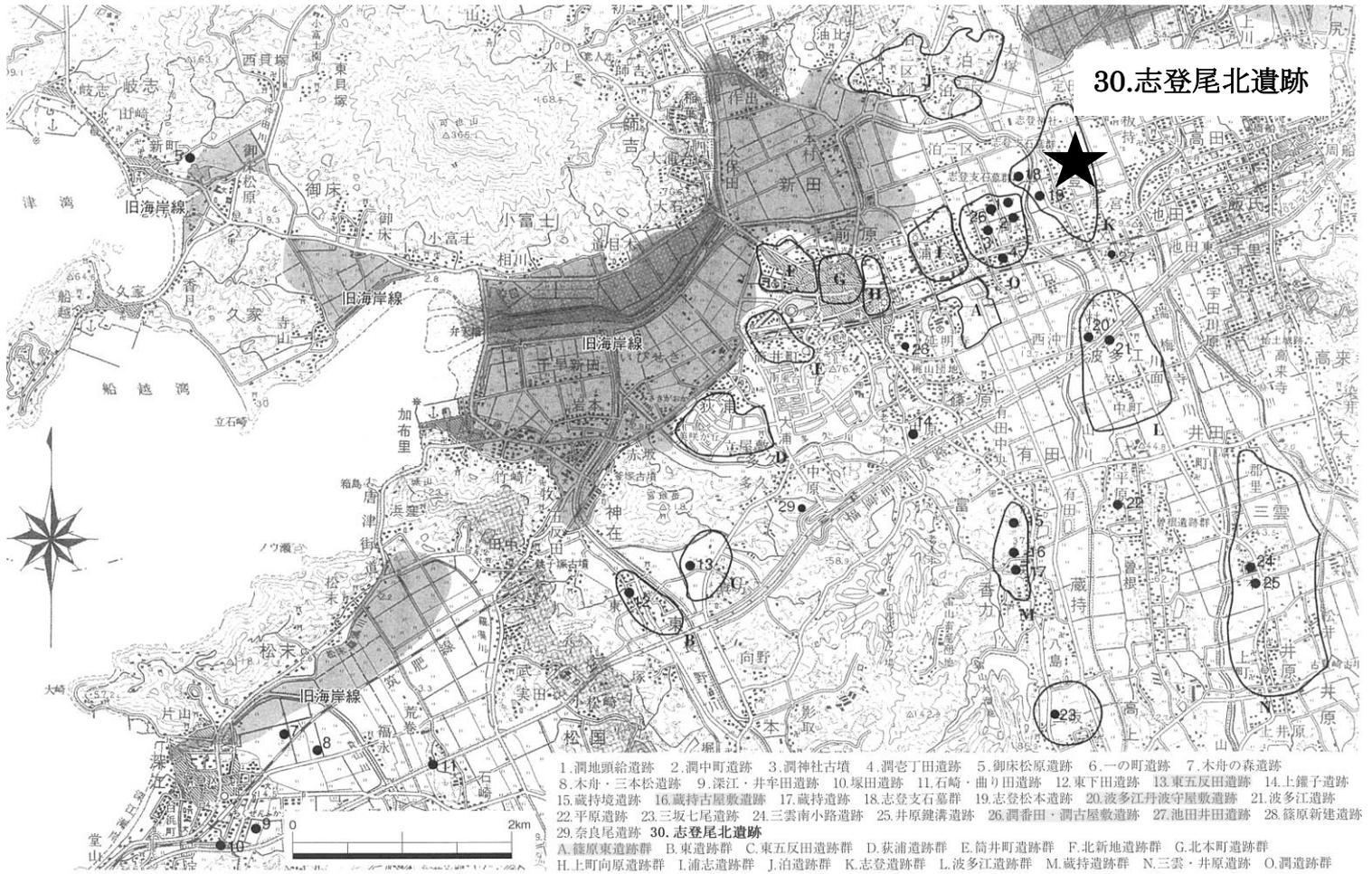


図1 志登尾北遺跡周辺遺跡分布図

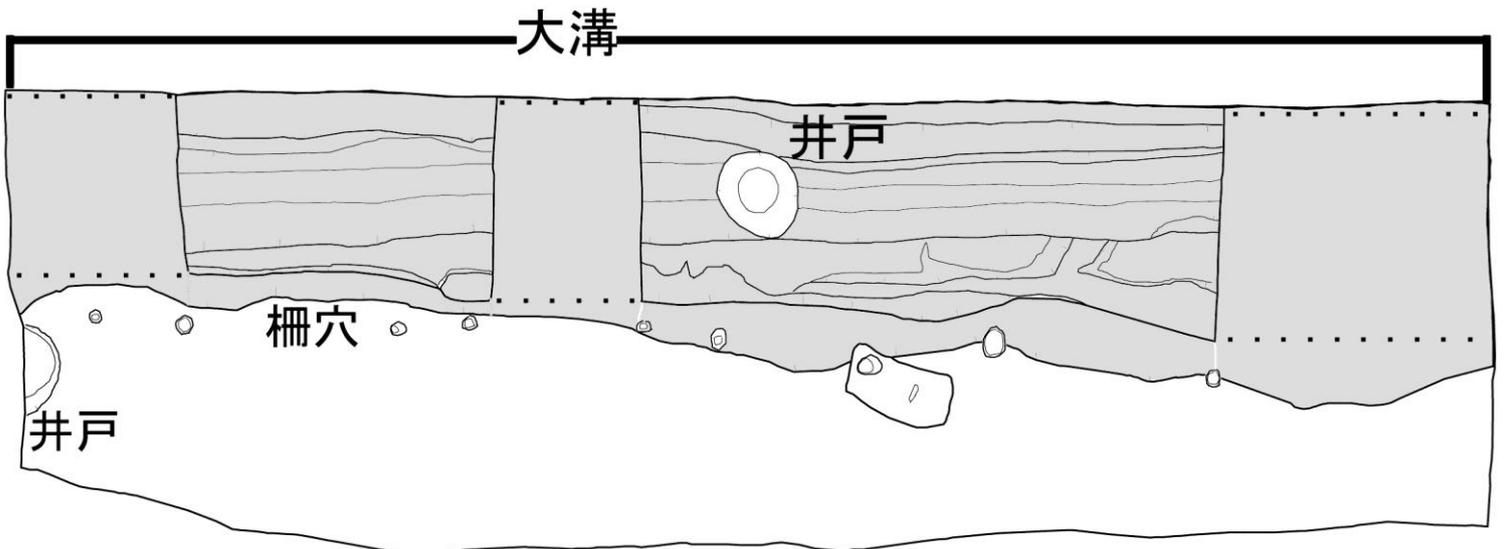


図2 志登尾北遺跡全体略図 (100分の1)



写真1 志登尾北遺跡調査区全景



写真2 調査区北側井戸（大溝内部）



写真3 調査区南側土器溜まり

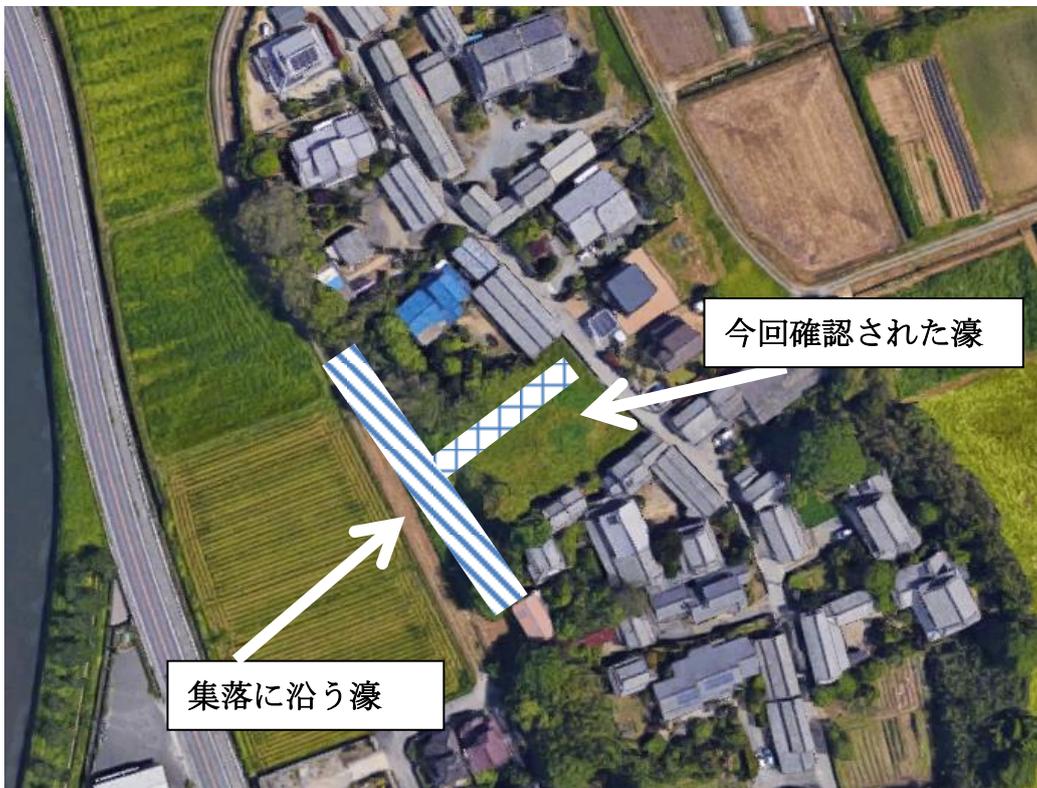


写真4 志登集落と濠の関係